

ACKG

# 19年に売上げ480億 第12期3ヵ年経営計画

ACKGグループは23日、中期経営計画「ACKG2013強化」に基づく第12期(2017年9月期)3ヵ年経営計画を発表した。19年9月期の連結業績目標値は、売上高

が17年9月期比11・6%増の480億円、営業利益が33・8%増の17億8000万円、営業利益率が0・6倍増の3・7%を目指す。

成果目標値は、重点化事業

受注高が14年9月期比1・4

倍以上と定めた。人材の確保

・育成は、社員が17年9月期

比9・1%増の2390人、このうち女性社員が12・5%

増の540人、グローバル人材が19・4%増の430人、

女性管理職が50%増の30人と設定した。有資格者は、技術士が13・4%増の930人、

博士が40%増の70人を計画している。

同グループは15日、「第11



期ACKGグループ戦略会議」を開き、グループ各社の社長、経営幹部に加え、次世代の経営幹部候補社員でつくる経営

計画策定・推進検討会の委員

が参加し、同計画を共有した

写真。また、16年9月期の業績見込みの詳細として、受

注高は海外が好調であったことを要因に、期首計画を上回る見込みであることを報告し

た。

さらに中計で定めた3つの

強化方針(個の強化、連携の

強化、3軸市場の競争力強化)を一層推し進めるために、

グループ各社が重点化プロジェクトを協働して実施する「重

点化事業(企業)連携」、グループ各社が地域ごとに協働

する「地域(日常)連携」の成功プロジェクト事例、17年

9月期の連携方針を発表、討議した。

野崎秀則社長は「グループ会社の連携は、量だけでなく質も向上しつつあり、顧客のニーズが高まっている総合化、複合化の期待に応え、社会に貢献していく必要がある」としながら、「そのためには、

さらなる各社の個の強化、連携の強化、人材の交流が重要だ」と締めくくった。